



報道関係者各位

特定非営利活動法人ノーベル (<http://nponobel.jp/>)
 大阪市北区天満橋3-3-5天満インキュベーションラボ302
 担当: 兼城裕奈
 Tel : 06-6940-4130
 mail : info@nponobel.jp



病児保育のNPOノーベル、 大阪市内18区から大阪市内全域に事業拡大

NPO法人ノーベル(大阪市北区・代表高亜希)は、関西初のギャザリング方式にて**新たに、阿倍野区、住之江区、西淀川区、東淀川区、大正区、西成区**へ独自の地域密着型病児保育事業を展開することを決定した。ギャザリング方式という、各区で頂いた「利用希望メール」の多い地区よりサービス提供を開始する方法を採用し、実際に病児保育ニーズの高いエリアから順に事業展開をする。ギャザリング集計の結果、今回新たに上記7エリアにてサービス展開することが決定した。

2012年2月1日(水)より大阪市内全域(24区)にて病児保育サービスをご提供する。

ご利用には説明会への参加が必要で、2月からのご利用希望者向けに個人説明会を実施している。

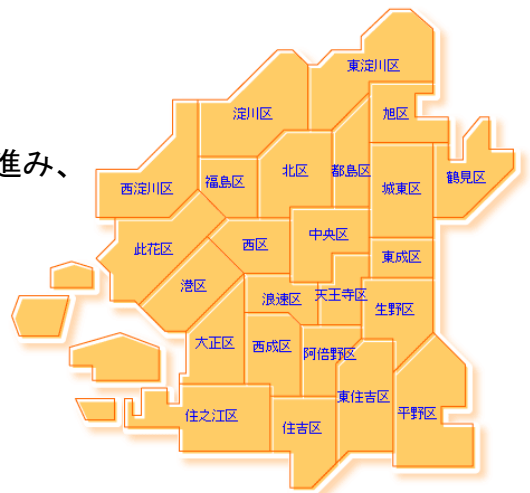
働く子育てファミリーが抱える最大の悩みは、子どもの急な発熱。

37度5分以上の熱を出すと保育園では預かってくれない。その現状に対し、病児保育施設は全国で約800程度と極めて少ない。なぜなら経済的自立ができないためである。子どもの熱は突発的で、安定した収入がないため、また行政からの補助金には規制があり赤字になる矛盾したものとなっている。

そこで、NPO法人ノーベルは2010年2月、地域の子育てベテランママが小児科医と連携しながら保育をする、従来にはなかった新しいタイプの共済型・地域密着型病児保育を事業化した。

中央区・西区をサービスエリアとして事業開始以来、寄せられたお問い合わせは400を超え、社会的関心の高さが浮き彫りとなっており、展開エリアを拡大していくことが急務となっている。この度、保育スタッフの採用・研修が無事進み、ようやく他地域への展開が可能な体制が整うまでに至った。今後も定期的なギャザリング方式の採用を継続し、大阪市外もカバーする予定だ。

病児保育は本来であれば待機児童問題と平衡して進めなければならない問題であるが行政も民間も取り組むことができていない**保育領域**の中で最も社会的に取り組みが遅れている分野である。



NPO法人ノーベルは、子どもを産んでも当たり前働き続けられる社会を実現するために2009年4月に設立されました。

